



「総合的な学習の時間」の重点	自らの興味関心を生かし、他の生徒と協働しながら課題を追究していく中で「生きる力」を養う。
「特別活動の指導」の重点	学級活動においては、関わり合い・助け合い・認め合う学級づくりに努め、生徒会活動においては、自主的・自律的に行動する態度を育てる。
「道徳教育の指導」の重点	特別の教科 道徳の授業を充実させ、道徳的な心情・判断力を高め、実践意欲と態度を養う。
「生活指導の指導」の重点	よりよい生き方や円滑な人間関係づくりを図り、不登校やいじめの防止・早期発見に努める。教育相談を重視し、SCや特別支援教室専門員、巡回指導教員などを交えた適応推進委員会の機能を充実させる。家庭や地域社会との連携を図り、生徒の健全育成に努める。
「人権教育の指導」の重点	人権を尊重する姿勢と実践力を備えた生徒を育成し、自分の意思を適切に表現できるようにする。
「進路指導の指導」の重点	ガイダンスの機能を充実させ、一人一人の生徒が自主的に進路を選択し、意思決定ができるよう指導・援助に努める。

ア 指導内容・指導方法の工夫	基礎学力の定着と応用力の向上につながる指導内容としていく。課題解決型の学習、小集団による学習、ICT活用による学習を積極的に取り入れる。
イ 教育課程編成上の工夫	全学年「朝読書」を取り入れ、全教科での言語活動充実の基盤をつくる。
ウ 校内における研究や研修の工夫 ※「小中一貫教育の視点」を含む	小中一貫教育研究発表グループ校として南が丘小学校、南田中小学校と合同で、カリキュラム作成および授業改善を目的とする研究授業や研修会を実施する。
エ 評価活動の工夫	各教科の年間指導計画の概要と評価計画（各学期のもの）を作成し、保護者に配布する。
オ 家庭や地域社会との連携の工夫	保護者には家庭学習や睡眠時間など生活リズムの大切さを伝え、家庭との密な連携を図る。
改善策の検証	学校関係者評価や保護者アンケート、生徒授業アンケート等により、改善部分の効果を測定する。